

サラリーマン川柳(ウソだらう マナー研修 受講済)

(ズボン下げ スカートあげて 髪染める)

(将来は パソコンの中に 家を建て)

(休めよと 言っってはくれるが 代わる人無し)



森民夫市長(右)と協会の代表者(左)が要望書を手交している様子。

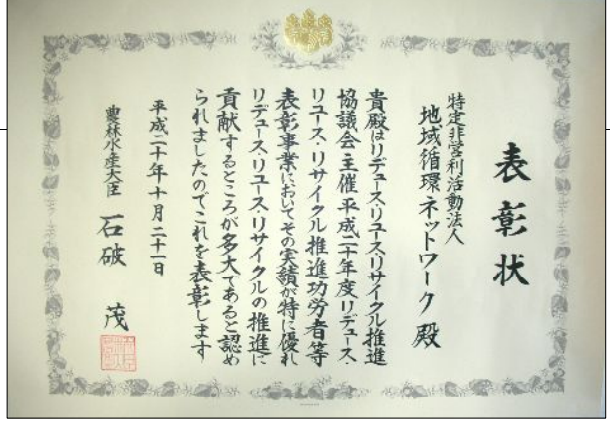
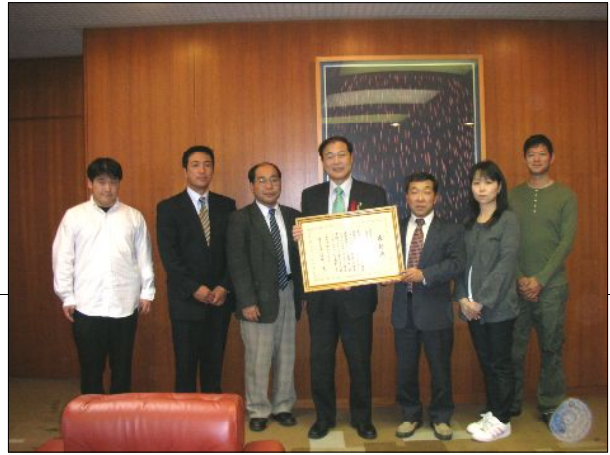
平成21年度予算編成に向け 森民夫長岡市長に要望書を提出 ライフサポートセンター事業などを評価 市としても多重債務対策を研究・検討中

平成21年度の長岡市予算編成に反映すべく、連合中越は10月22日(水)長岡市の森市長を訪ね、要望書の提出を行った。森市長は、要望内容についてコメントしながら、ライフサポートセンターの事業展開について評価と感謝が述べられた。

第12回連合中越幹事会のご案内

日時 11月4日(火)18:30~
会場 長岡市勤労会館 第2小ホール
議題 一般活動報告
第18回年次総会の任務分担
その他

連合中越政策委員会が中心となって策定が進められてきた要望事項は、各産別・単組からの要望・意見を組み込みながら、第55回委員会でもまとめられての提出となった。要望事項のポイント説明の後、市長から各項目に対する考え方が示された。特にライフサポートセンターへの相談項目が多岐・深刻なものとなっていることから、長岡市として



受賞 NPO地域循環ネットワーク 農水大臣賞を受賞

3R(リデュース・リユース・リサイクル)運動
資源循環と人の循環システムが児童生徒の食育に直結評価

10月21日(火)東京での受賞を受けた後翌22日(水)森民夫市長を表敬訪問しての受賞報告がなされた。当日は、地域循環ネットワークの理事・事務局スタッフが市役所を訪れた。森市長からは「本当におめでとう。長年の地道な活動が評価されたもので、新潟県内からも唯一の受賞となったわけで、長岡市長としてお祝いとともに、皆さんに感謝したい。」と受賞の祝いとともに日頃の活動に対する感謝の言葉が述べられた。

10月21日(火)東京での受賞を受けた後翌22日(水)森民夫市長を表敬訪問しての受賞報告がなされた。当日は、地域循環ネットワークの理事・事務局スタッフが市役所を訪れた。森市長からは「本当におめでとう。長年の地道な活動が評価されたもので、新潟県内からも唯一の受賞となったわけで、長岡市長としてお祝いとともに、皆さんに感謝したい。」と受賞の祝いとともに日頃の活動に対する感謝の言葉が述べられた。

中越大震災
四周年追悼式開催
2004年の中越大震災から4年を迎えた10月23日(木)長岡市立太田小中学校体育館で追悼式が挙行された。

表彰状
特定非営利活動法人
地域循環ネットワーク 殿
貴団はリデュース・リユース・リサイクル推進協議会主催平成20年度リユース・リサイクル推進功労者等表彰事業において、顕著な功績を認められ、リデュース・リユース・リサイクルの推進に貢献する功績が多大であると認められました。これを表彰します。
平成20年10月21日
農水大臣 石破 茂

熊が出没、イノシシが出没。日本は80%近くが森林で覆われている。自然豊かな国土だ。国土の8割は「人間」ではなく、東日本の熊と西日本のイノシシが食物連鎖の頂点として君臨してきた。人間は2割の領土で生活する少数派。8割の森林地帯に道路を建設、川をせき止めダムを建設、橋を建設して道路に結ぶ。人間にとつての建設は、自然にとつては破壊。さりとて、昔々の世界・暮らしに引き返す事は不可能だろう。これ以上環境破壊を進めず、「あるをもつて足る生活」が出来ないのか、と熊とイノシシが訴えている。人は「物は奪え合えば足りず、分け合えば余る」という先人の知恵も持ち合わせない生物になつたのだろうか。

見なくっちゃ 聞かなくっちゃ 言わなくっちゃ
●熊が出没、イノシシが出没。日本は80%近くが森林で覆われている。自然豊かな国土だ。国土の8割は「人間」ではなく、東日本の熊と西日本のイノシシが食物連鎖の頂点として君臨してきた。人間は2割の領土で生活する少数派。8割の森林地帯に道路を建設、川をせき止めダムを建設、橋を建設して道路に結ぶ。人間にとつての建設は、自然にとつては破壊。さりとて、昔々の世界・暮らしに引き返す事は不可能だろう。これ以上環境破壊を進めず、「あるをもつて足る生活」が出来ないのか、と熊とイノシシが訴えている。人は「物は奪え合えば足りず、分け合えば余る」という先人の知恵も持ち合わせない生物になつたのだろうか。



第622号 2008.11.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



SJネット学習会

「裁判員制度の概要と課題」をテーマに研修

多くの反対意見がある中で来春から開始される課題とは？
国民は、あなたは、どう対処すればいいの？



さる10月25日、SJネット学習会を開催しました。

内容は現在候補者選らびが行われ、来春から開始される裁判員制度に焦点をあて、その制度の概要と課題を学びました。

まず最初、「評議」はどのようにして行われるかをドラマ仕立てにしたDVDを鑑賞した後、弁護士の船山尚吾氏から制度の内容を講演していただきました。

いままですら理解していなかった裁判員制度ですが、この制度には多くの問題点があること、3年後には見直しがあること、もし選ばれてしまったら・・・など1時間にわたってお話を聞きこの制度の理解を深めました。

私たち一般人の素人が法廷刑の重い(殺人など)、重大事件を裁くという大変な制度、問題をかかえている制度とはいえず、来春は行われるのですから、内容をよく理解して対処していくことが大切だと実感しました。船山弁護士の熱意あふれる、有意義な内容の学習会となりました。34人の組合員から参加がありました、参加された皆さんお疲れ様でした。

入るんじゅん

中越地震・中越沖地震で被災された方々に見舞い金を約一億円お支払いいたしました。

ろうきんでは、中越大震災・中越沖地震で住宅に被害を受けた「ろうきん住宅ローン」ご利用の方々に、被災状況に合わせてお見舞い金をお支払いしました。

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 内容 (Content). It lists financial figures for the earthquake relief fund, including the total amount raised and the amount paid out to borrowers.

●見舞金の総行入額(2011年3月末現在)
中越地震 中越沖地震 合計 = 4,543人/1,938億円
前年度・中越沖地震に1,832名/6,174万円を支払った実績を踏まえ、2011年9月30日までに約1億2,000万円を振り込んでいます。

ろうきんマイカーローンのご利用は、交通遺児の生活や環境保全活動を支援することとなります。

昭和二十七年創設当時から、高利貸からの救済(多重債務問題)に取り組んでいます。ろうきんでは、創設者精神「借金(借金)の解決は、必ずできます」を各営業に、借主との信頼で、多重債務者の返済活動や学習等の開催など未然防止活動を行っています。

福祉マイカーローン・福祉教育ローンを揃えています。

ろうきんでは、福祉社会推進事業の購入資金や、母子家庭・交通遺児救済のための特別ローンを設けています。

「あなたは知っていますか？」
目指すのは、働く人の生活を支援、快適で暮らしやすい社会をつくること。
「ろうきん」は、はたらく人の「生活応援バンク」が、お互いを助け合うためにつくられた協同組合金融機関です。
ろうきんは、労働者生活の安定と向上を、社会全体の発展と発展とを目的とした、公平で民主的な事業運営を行っています。
労働者生活の安定と向上を、社会全体の発展と発展とを目的とした、公平で民主的な事業運営を行っています。

働く女性や子育て世帯を応援しています。
ろうきんでは、子育て期間中の経済的負担を軽減する「30日間お休み貸付ローン」や、新築住宅の建設による「買戻し・介護サポートローン」を取り扱っています。

ローン申し込み、繰り上げ返済、カード・遺贈の再発行などの各種手数料が0円です。
ろうきんでは、マイカーローン・通勤の再発行手数料、各種ローンのお申し込み料・繰り上げ返済手数料(ろうきんクラブSMSは除く)などが無料です。

新着ろうきんのサービス情報。無料0円。http://www.nikkobank-fokin.or.jp